

---

## 「副腎原発性アルドステロン症の術後血清カリウム動態、腎機能推移についての多施設共同研究」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【国家公務員共済組合連合会虎の門病院研究倫理審査委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2006年4月1日～2023年3月31日の間に、原発性アルドステロン症、または、非機能性副腎腫瘍のために埼玉医科大学総合医療センター泌尿器科に入院・通院し、腹腔鏡下副腎摘除術を受けられた方

#### 2. 研究の目的

##### 《目的》

原発性アルドステロン症の患者さんで、腹腔鏡下副腎摘除術が行われた後に、血液中のカリウム(K)が低下する病態、腎臓の機能が低下する病態が存在するのか、について統計調査をすることを目的としています。

##### 《研究に至る背景》

原発性アルドステロン症に対して腹腔鏡下副腎摘除術が行われた後に、血液中のKの値が低下する現象が国家公務員共済組合連合会虎の門病院では認められています。現状、手術後に血液中のKが低下する現象については、未だ報告がありません。一方、原発性アルドステロン症では手術後に腎機能が低下する可能性が一つの研究で示されました。しかし、たった一つの研究でのみ示されていることから、その病態が確からしいかについては、明らかではありません。そのため、本研究では、患者さんのカルテ情報、血液データを用いて、術後のK値、腎機能を調査したいと考えています。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2026年12月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2024年3月31日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

## 研究に用いる試料・情報について

### 1. 試料・情報の内容

診療情報、手術データ、放射線画像データ、看護記録、血液検査結果、生理検査結果、病理検査結果

※この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学総合医療センター泌尿器科】において、研究責任者である矢野 晶大が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

### 2. 試料・情報の取得方法

原発性アルドステロン症、または、非機能性副腎腫瘍と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

虎の門病院 ・ 泌尿器科 ・ 浦上慎司

島根大学医学部付属病院 ・ 泌尿器科学講座 ・ 小川貢平

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

### 5. 試料・情報の提供方法等について

診療情報は埼玉医科大学総合医療センターで特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、診療情報を開けるためのパスワードを設定し、CDに診療情報を保存して、虎の門病院泌尿器科、島根大学医学部付属病院泌尿器科学講座へ書留郵便で送付し、別途パスワードは各施設の研究責任者へメールで送付することで、診療情報を提供いたします。

## お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 ・ 永本将一

電話 049-228-3673(直通) (平日 9時～17時)

○研究課題名：副腎原発性アルドステロン症の術後血清カリウム動態、腎機能推移についての多施設共同研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 矢野晶大